

ホタテガイ採苗速報

表層と中層の水温が上昇してきました 早めに稚貝採取を行きましょう

1 海況

7月7日時点の陸奥湾の表層(1m層)と中層(10~15m層)の日平均水温は、上昇しています(図1)。一部海域で表層では25℃、中層では23℃を超えました(各ブイの詳細は、海ナビ@あおもりを参照)。

2 稚貝採取の注意点

稚貝は水温が23℃を超えると成長は鈍り、25℃で成長がストップし、26℃を超えるとエネルギー不足からへい死の危険性が高まります(図2)。表層水温が上昇してきたので、早めに稚貝採取を行きましょう。

採苗器内の稚貝は成長や水温上昇に伴い、袋の下に落ちて溜まり、異常貝率やへい死率が高くなるので、袋の下に落ちた稚貝は使わないようにしましょう(採苗速報第11号参照)。

また、中層の水温も上昇してきたので、自分の地区の水温を確認し、中層の水温が23℃を超える地区では採苗器及び稚貝採取後のパールネットを、玉付けをせずに調整玉を数珠つなぎにするなどして、できるだけ水温の低い下層に沈めましょう。

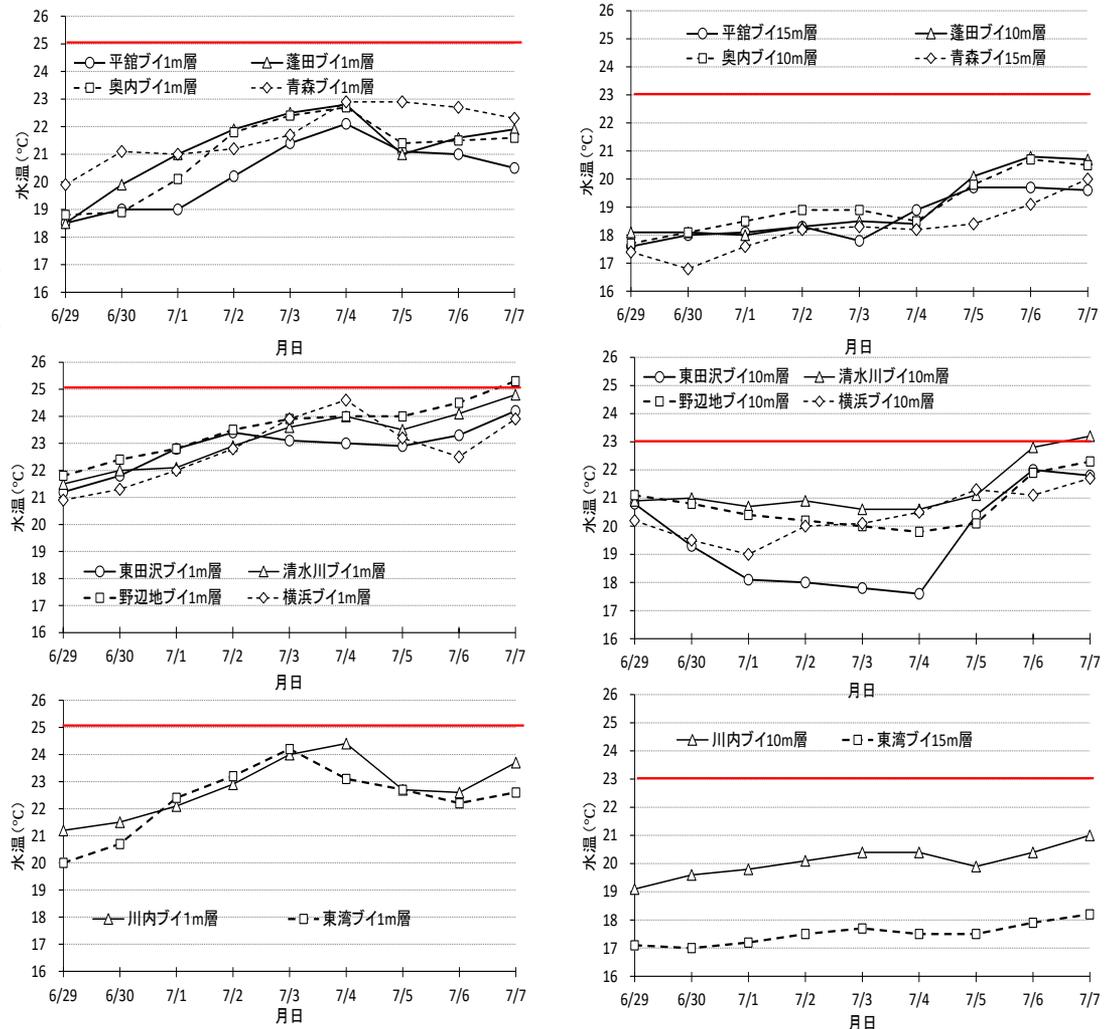


図1 海況自動観測ブイと水温観測ブイの日平均水温の変化
(左側：表層の1m層 右側：中層の10mまたは15m層)

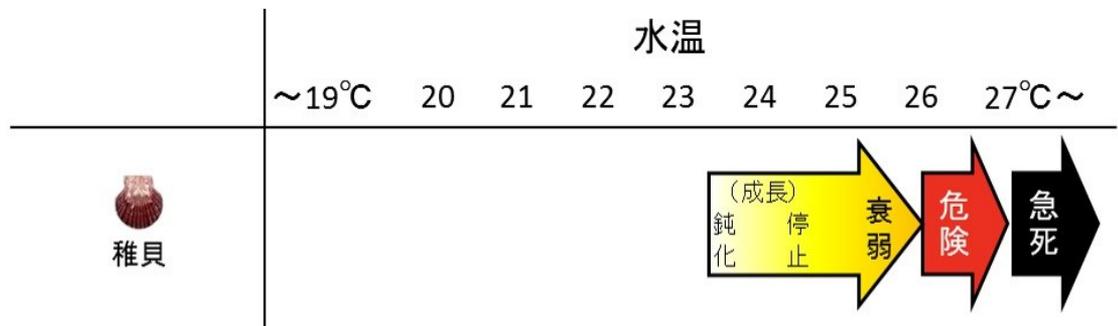


図2 ホタテガイ稚貝の成長と生残率に与える水温の影響

